

# 日本版CCRCと北九州市

## 日本版CCRCを検討するにあたって、本市を取り巻く現状と課題

### 【本市の現状】

政令市中、最も高齢化が進展している都市

高齢化率：28.2%（平成27年4月）

充実した高齢者施策の展開に対する高評価

日経グローバル高齢化対策調査（平成25年11月）

総合評価：全国5位（回答702市区中）

政令市中、第1位

### 【課題と対応策】

増田レポート第2弾の発表で「姥捨て山批判」が表出することになった。



## 日本版CCRCを進める要素は豊富にある

日本創成会議による「東京圏高齢化危機回避戦略」において、医療・介護ともに受入れ能力のある41地域に、大都市型では唯一、本市が抽出されている

### 医療・介護ともに受け入れ能力のある地域

地域区分	二次医療圏の主な都市（道府県）全国41圏域
大都市型	北九州市
地方都市型	函館市、青森市、岡山市、徳島市、大牟田市など32地域
地方都市型 準地域	北見市、山口市、下関市、長崎市、鹿児島市など8地域

これに対しては、「高齢者の希望に応じた移住を実現するための選択肢を提供する」という観点でCCRCを検討することが必要。

同時に、市民に「移住者優遇」と捉えられないよう、市域全体として「アクティブシニアが輝く社会を形成していく」姿勢を示す。

